

付録 B 性能測定結果用紙の特別な利用について（参考）

本基準では、日あたり消費エネルギー消費量を試算するために、表 B.1 のような変数を想定し、それぞれに標準値を設定している。しかし、実際の施設の状況（業種、業態、食数および営業時間など）に応じた現実的な日あたりエネルギー消費量を試算するには、その施設にあった適切な値を用いる必要がある。

そのような時のために、性能測定結果用紙の「5. エネルギー消費量」において、予め入力されている標準値から望む値に変えることができるようにしてある。そのことによって、新たな条件の日あたりエネルギー消費量が試算できる。ただし、標準値から変えるとその値の入っているセルの背景は黄色で塗りつぶされて、標準値とは異なっていることを表すようになっている。またその時、性能測定結果用紙の表紙にもそのことが分かるようにその値に関する文字情報が赤字で表示される。

上記のように標準値から変更した値自体が合理的かつ現実的な値でなければ、非現実的な結果表示になることがあるので、注意が必要である。また、求めた日当たりエネルギー消費量は、本基準で標準として定めた値とは異なっているため、取り扱いに注意が必要である。

表 B.1

h_c : 調理時間または処理時間[h/日]
h_i : 待機時間[h/日]
h_d : 稼働時間[h/日]
v_d : 日あたり調理量[食/日] または日あたり処理量[枚/日]
n_s : 立上り回数[回/日]
n_{sr} : 洗浄水入替え回数[回/日]
n_d : 調理回数または処理回数[回/日]
r_c : 調理負荷率

性能測定結果用紙の公開のための処理方法

性能測定結果用紙を公開するときは、性能測定結果用紙を下記のようにすることを推奨する。

- (1) 「表紙」の 7、8、9 行目の 3 行（「試験場所」「試験日」「測定器」の行）は、非表示に設定する。（図 B.1 の例を参照のこと）

業務用厨房熱機器等性能測定結果【電気機器】						
品 目	テーブルレンジ				番号	
					作成日	2017年10月7日
名 称	IHレンジ		製造者名	abc		
型 式	AB-301					
機器の 主な仕様	外形寸法(mm)	450 (W)×	600 (D)×	300 (H)	重量(kg)	20.0
	電 源	三 φ 200V				
	加熱方式	誘導加熱式		コイル径	φ 180	(mm)

図 B.1

- (2) 上記3行を非表示にした分、「備考」、「セールスポイント」の欄を広げて、自由に記入できる。これらの欄は、写真や図等の挿入も削除も自由にできるので、性能測定結果用紙が公開された時、試験機器を顧客やユーザーにアピールするためのツールとして考えて挿入すること。なお、「備考」欄が不要であれば、削除して「セールスポイント」欄を広げてよい。
- (3) 性能測定結果用紙を PDF 形式に変換しようとするときロックがかかっているため図 B.2 のような警告が表示されるが、**はい(Y)**のボタンをクリックして、続行すればよい。

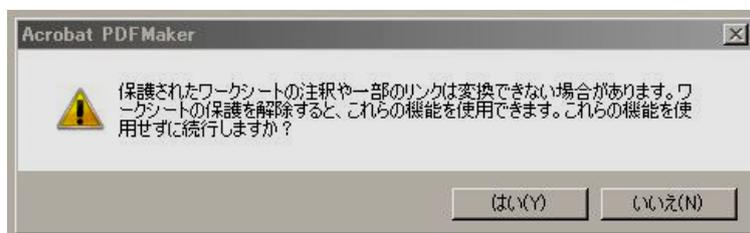


図 B.2